



2008年3月期 第3四半期財務・業績の概況

2008年1月31日

上場会社名 第一三共株式会社

上場取引所 東証・大証・名証各第1部

コード番号 4568

URL <http://www.daiichisankyo.co.jp/>

代表者 代表取締役社長 庄田 隆

問合せ先責任者 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 高橋 利夫 TEL (03) 6225-1126

(百万円未満切捨て)

1. 2008年3月期第3四半期の連結業績 (2007年4月1日～2007年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2008年3月期 第3四半期	695,849	△4.8	156,775	18.8	166,048	13.6	96,419	24.1
2007年3月期 第3四半期	730,647	3.8	131,997	△1.7	146,121	5.2	77,693	△4.1
2007年3月期	929,506	—	136,313	—	152,086	—	78,549	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
2008年3月期 第3四半期	133	47	—	—
2007年3月期 第3四半期	106	57	—	—
2007年3月期	107	75	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
2008年3月期 第3四半期	1,549,017	1,275,171	1,275,171	1,275,171	82.1	1,769	36	
2007年3月期 第3四半期	1,669,585	1,275,895	1,275,895	1,275,895	76.2	1,745	70	
2007年3月期	1,636,835	1,272,148	1,272,148	1,272,148	77.5	1,740	26	

2. 2008年3月期の連結業績予想 (2007年4月1日～2008年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	876,000	△5.8	160,000	17.4	171,000	12.4	100,000	27.3	138	59

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照して下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の売上高は6,958億円（前年同期比4.8%減）となりました。

内訳としましては、医薬品事業の売上高が6,652億円（前年同期比0.2%減）、その他事業の売上高が306億円（前年同期比52.0%減）となりました。非医薬品事業のグループ外自立化を積極的に進めたことにより減収となりますが、コアとなる医薬品事業においては、主力品の拡大に努めた結果、海外子会社の決算期変更による減収要因173億円を吸収し、ほぼ前年同期並みの売上高を確保しました。主力品では、高脂血症治療剤プラバスタチンが特許期間満了により縮小しましたが、高血圧症治療剤オルメサルタンが大きく拡大し、また、合成抗菌剤レボフロキサシンが堅調に推移しました。

利益面では、事業構造、並びに売上品目構成の変化等により原価率が前年同期に比べ2.4ポイント改善し、26.1%となりました。販売費及び一般管理費につきましては、海外事業基盤の強化や研究開発課題の積極的な推進など当社グループが一層飛躍するための重点的な資源投入を行いつつ、要員適正化や拠点集約など事業統合によるコストシナジーの具現化、さらには経費支出の効率化を推進し、前年同期から329億円減となる3,573億円（うち研究開発費1,170億円）を計上しました。この結果、営業利益は1,567億円（前年同期比18.8%増）、経常利益は1,660億円（前年同期比13.6%増）となりました。

また、前年同期は非医薬品事業の子会社売却益等、特別利益524億円を計上する一方、特別損失には希望退職制度の実施などに関わる事業統合関連損失を中心に728億円を計上しましたが、当第3四半期におきましては、子会社売却益、土地売却益を中心に特別利益41億円、事業統合関連損失を中心に特別損失89億円を計上しております。この結果、当第3四半期の純利益は964億円（前年同期比24.1%増）と大幅な増益となりました。

なお、海外子会社の決算期変更による影響額として、前年同期は米国子会社分として売上高315億円、営業利益90億円、経常利益105億円、四半期純利益58億円が、当第3四半期は欧州子会社分として売上高141億円、営業利益18億円、経常利益21億円、四半期純利益20億円が夫々加算されております。

[所在地別セグメント]

日本の売上高は、4,751億円（前年同期比10.3%減）となりました。このうち医療用医薬品の売上高は3,502億円（前年同期比0.7%増）となりました。高脂血症治療剤メバロチンなどが減少したものの、高血圧症治療剤のオルメテック、アーチスト、カルブロックの他、消炎鎮痛解熱剤ロキソニン、排尿障害改善剤ユリーフなどの伸長がこれを吸収いたしました。

海外ライセンスへの輸出売上及びロイヤリティ収入では、好調な現地での処方拡大を反映して合成抗菌剤レボフロキサシンが拡大を継続しているものの、主要国において特許期間が満了した高脂血症治療剤プラバスタチン原末の輸出減少が影響し、売上高は584億円（前年同期比12.6%減）となりました。

一般用医薬品につきましては、2006年12月に水虫用薬ラミシールATを導入元に返還した影響などがあったものの、期初に新製品としてシリーズに加えた外用消炎鎮痛薬パテックス・フェルビナクや2007年9月に発売したしみ〔肝斑〕改善薬トランシーノの貢献もあり、売上高は395億円（前年同期比0.4%減）とほぼ前年同期並みの水準となりました。

北米での売上高は、1,408億円（前年同期比5.8%減）となりました。前年同期における米国子会社の決算期変更により減収となりましたが、高血圧症治療剤ベニカー/ベニカーHCT、高脂血症治療剤ウェルコールなどが伸長し、実質的には順調に業績を拡大しております。また、2007年10月よりオルメサルタンとアムロジピンを配合した新しいタイプの高血圧症治療剤エイゾールの販促活動が開始され、概ね計画通りの立ち上がりとなりました。

その他地域の売上高は、799億円（前年同期比54.7%増）となりました。欧州において高血圧症治療剤オルメテックが順調に拡大したほか、アジア諸国においても高血圧症治療剤オルメサルタンや、合成抗菌剤レボフロキサシンが伸長し、業績を牽引いたしました。また、欧州子会社の決算期変更、ユーロ高による為替差額の発生、さらには当期より新たに連結対象とした中南米子会社も増収に寄与しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は1兆5,490億円（前連結会計年度末比878億円減少）、純資産は1兆2,751億円（前連結会計年度末比30億円増加）、自己資本比率は82.1%（前連結会計年度末77.5%）となりました。

総資産の減少は、要員適正化や機能子会社への転籍に伴う退職金未払金額等の支払いが当期に行われたこと、退職金・年金制度の見直しにより前払年金費用と退職給付引当金の残高が相殺により圧縮されたこと、国内株式相場の低迷により投資株式の含み益が減少したこと、さらには、自己株式の取得並びに配当金の支払いなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

2007年11月6日の2008年3月期中間決算発表時に公表した連結業績予想から変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用については、簡便法により計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当社及び国内連結子会社の一部は、今般の企業再編に伴い2007年4月1日付で退職金・年金制度を統一し、確定給付企業年金法に基づく類似キャッシュバランスプラン型退職年金制度の導入及び退職金の20%を確定拠出年金制度に移行を行う等の退職金・年金制度の見直しを実施いたしました。

三共(株)および第一製薬(株)の第一三共(株)への合併を契機とした当該制度の見直しにより多額の過去勤務債務が発生しましたが、今後はしばらく多額の発生が見込まれず、企業再編による効果も早期に発現することが見込まれることから、適切に退職給付制度の状況を適時に連結財務諸表へ反映させるため、企業再編前の主な事業会社である三共(株)では5年、第一製薬(株)及び第一アスピオファーマ(株)では10年としていた過去勤務債務の償却方法について、当連結会計年度より、再編後の第一三共(株)及びアスピオファーマ(株)等において発生時から1年(12ヶ月)で償却する方法に変更いたしました。

また、数理計算上の差異は、企業再編を機に退職金・年金制度を統一したため、また近時公定歩合の引き上げ、株式市場の堅調等、年金資産を取り巻く環境は好転しつつあるものの、当該統合により年金資産額が大幅に増加したことにより一層市場環境の影響を大きく受け、単年度の損益に著しい影響を与えることが想定されることから期間損益計算の適正性を確保するため、企業再編前の主な事業会社である三共(株)では発生年度に一括費用処理、第一製薬(株)では10年としていた数理計算上の差異の処理方法については、当連結会計年度より、従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数(10年)による定額法により処理する方法に変更いたしました。

この変更に伴い、数理計算上の差異については当連結会計年度での影響はありませんが、当期首に発生した過去勤務債務のうち当連結会計年度の償却額7,104百万円は勤務費用の減額として計上し、前連結会計年度までに発生した過去勤務債務の未償却残高231百万円については特別利益として計上した結果、従来と同一の基準によった場合と比較し、営業利益及び経常利益はいずれも5,969百万円多く計上され、税金等調整前四半期純利益は6,201百万円多く計上されております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期要約連結貸借対照表

区分	前連結第3四半期 (2006年12月31日)		当連結第3四半期 (2007年12月31日)		前連結会計年度 (2007年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金	184,954		60,783		232,614	
2 受取手形及び売掛金	261,098		232,204		197,158	
3 有価証券	367,210		499,712		373,896	
4 抵当証券	15,000		—		15,000	
5 たな卸資産	114,456		109,651		107,758	
6 繰延税金資産	53,090		62,301		63,364	
7 その他	27,583		33,782		26,773	
貸倒引当金	△793		△775		△724	
流動資産合計	1,022,600	61.2	997,661	64.4	1,015,840	62.1
II 固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	147,384		142,098		142,534	
(2) 機械装置及び運搬具	43,190		36,489		40,010	
(3) 土地	41,965		36,303		38,011	
(4) 建設仮勘定	8,101		5,774		12,013	
(5) その他	16,958		15,947		16,288	
有形固定資産合計	257,601	15.5	236,612	15.3	248,857	15.2
2 無形固定資産						
(1) のれん	19,470		16,276		18,569	
(2) その他	46,102		36,617		41,584	
無形固定資産合計	65,573	3.9	52,893	3.4	60,153	3.7
3 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	272,098		229,167		262,240	
(2) 長期貸付金	4,710		1,394		1,615	
(3) 前払年金費用	16,692		5,951		18,021	
(4) 繰延税金資産	8,244		5,598		8,890	
(5) その他	22,630		20,056		21,636	
貸倒引当金	△564		△318		△421	
投資その他の資産合計	323,810	19.4	261,850	16.9	311,983	19.0
固定資産合計	646,985	38.8	551,356	35.6	620,994	37.9
資産合計	1,669,585	100.0	1,549,017	100.0	1,636,835	100.0

第一三共株式会社(4568) 2008年3月期第3四半期財務・業績の概況

区分	前連結第3四半期 (2006年12月31日)		当連結第3四半期 (2007年12月31日)		前連結会計年度 (2007年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1 支払手形及び買掛金	67,343		65,410		56,435	
2 短期借入金	6,116		4,629		8,560	
3 未払法人税等	31,192		38,788		27,573	
4 繰延税金負債	2		—		—	
5 返品調整引当金	1,613		1,075		1,315	
6 売上割戻引当金	4,115		3,697		2,471	
7 偶発損失引当金	3,345		2,225		3,498	
8 その他	175,794		109,639		181,654	
流動負債合計	289,525	17.4	225,467	14.6	281,510	17.2
II 固定負債						
1 長期借入金	1,682		824		1,533	
2 繰延税金負債	27,219		24,362		36,145	
3 退職給付引当金	62,306		10,576		35,062	
4 役員退職慰労引当金	2,699		441		1,037	
5 土壌浄化対策引当金	4,234		2,004		3,956	
6 その他	6,022		10,169		5,441	
固定負債合計	104,165	6.2	48,378	3.1	83,176	5.1
負債合計	393,690	23.6	273,846	17.7	364,687	22.3
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金	50,000	3.0	50,000	3.2	50,000	3.1
2 資本剰余金	179,859	10.8	179,862	11.6	179,860	11.0
3 利益剰余金	970,626	58.1	1,023,904	66.1	971,483	59.3
4 自己株式	△9,961	△0.6	△43,390	△2.8	△9,997	△0.6
株主資本合計	1,190,524	71.3	1,210,376	78.1	1,191,346	72.8
II 評価・換算差額等						
1 その他有価証券評価差額金	77,573	4.6	58,126	3.8	72,358	4.4
2 為替換算調整勘定	4,535	0.3	3,616	0.2	4,951	0.3
評価・換算差額等合計	82,109	4.9	61,742	4.0	77,310	4.7
III 少数株主持分	3,261	0.2	3,052	0.2	3,491	0.2
純資産合計	1,275,895	76.4	1,275,171	82.3	1,272,148	77.7
負債純資産合計	1,669,585	100.0	1,549,017	100.0	1,636,835	100.0

第一三共株式会社(4568) 2008年3月期第3四半期財務・業績の概況

(2) 四半期要約連結損益計算書

区分	前連結第3四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年12月31日)		当連結第3四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年12月31日)		増減 金額 (百万円)	前連結会計年度 (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)		金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	730,647	100.0	695,849	100.0	△34,797	929,506	100.0
II 売上原価	208,361	28.5	181,740	26.1	△26,621	265,200	28.5
売上総利益	522,285	71.5	514,109	73.9	△8,176	664,306	71.5
III 販売費及び一般管理費	390,288	53.4	357,333	51.4	△32,954	527,992	56.8
営業利益	131,997	18.1	156,775	22.5	24,778	136,313	14.7
IV 営業外収益	16,060	2.2	12,167	1.8	△3,892	20,001	2.2
V 営業外費用	1,936	0.3	2,894	0.4	958	4,228	0.5
経常利益	146,121	20.0	166,048	23.9	19,927	152,086	16.4
VI 特別利益	52,408	7.2	4,105	0.6	△48,302	73,492	7.9
VII 特別損失	72,816	10.0	8,956	1.3	△63,859	98,666	10.6
税金等調整前四半期(当期)純利益	125,712	17.2	161,197	23.2	35,484	126,912	13.7
税金費用	47,924	6.6	64,770	9.3	16,846	48,078	5.2
少数株主利益	95	0.0	6	0.0	△88	283	0.0
四半期(当期)純利益	77,693	10.6	96,419	13.9	18,726	78,549	8.5

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める医薬品事業の割合が、いずれも90%を超えているため、当連結会計年度より事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前連結第3四半期（自 2006年4月1日 至 2006年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	529,432	149,549	51,666	730,647	—	730,647
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	64,524	28,437	9,527	102,489	(102,489)	—
計	593,956	177,986	61,193	833,136	(102,489)	730,647
営業費用	478,686	143,618	53,429	675,735	(77,084)	598,650
営業利益	115,270	34,367	7,763	157,401	(25,404)	131,997

当連結第3四半期（自 2007年4月1日 至 2007年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	475,118	140,804	79,926	695,849	—	695,849
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,756	35,121	16,003	104,881	(104,881)	—
計	528,875	175,925	95,929	800,730	(104,881)	695,849
営業費用	412,191	140,901	89,097	642,191	(103,116)	539,074
営業利益	116,684	35,023	6,831	158,539	(1,764)	156,775

前連結会計年度（自 2006年4月1日 至 2007年3月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	667,851	191,466	70,188	929,506	—	929,506
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	81,943	41,239	17,044	140,227	(140,227)	—
計	749,795	232,706	87,232	1,069,734	(140,227)	929,506
営業費用	637,080	195,421	79,602	912,104	(118,910)	793,193
営業利益	112,714	37,285	7,630	157,630	(21,316)	136,313

(注) 1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の各区分に属する国又は地域

北米……米国

その他…ドイツ、英国、フランス、スペイン、イタリア、中国、台湾等

[海外売上高]

前連結第3四半期(自 2006年4月1日 至 2006年12月31日)

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	189,047	63,644	22,839	275,530
II 連結売上高(百万円)				730,647
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	25.9	8.7	3.1	37.7

当連結第3四半期(自 2007年4月1日 至 2007年12月31日)

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	173,422	76,180	31,257	280,861
II 連結売上高(百万円)				695,849
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	24.9	11.0	4.5	40.4

前連結会計年度(自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	241,850	84,327	30,523	356,700
II 連結売上高(百万円)				929,506
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	26.0	9.1	3.3	38.4

(注) 1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

北米……米国、カナダ

欧州……ドイツ、英国、スペイン、イタリア、アイルランド、フランス、スイス等

その他…アジア、中近東、中南米等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。